

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2022 年 10 月 7 日

報道関係各位

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
株式会社三菱地所設計
株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ

2022 年度グッドデザイン賞 三菱地所グループ全体で 5 件受賞



- ・「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」
(三菱地所など)
- ・「ザ・パークハウス 鎌倉」(三菱地所レジデンス)
- ・「アントグループ本社」(三菱地所設計) など

～三菱地所グループ 20 年連続の受賞～

三菱地所グループの三菱地所株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、株式会社三菱地所設計、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツは、2022 年度のグッドデザイン賞において、宿泊施設「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」、集合住宅「ザ・パークハウス 鎌倉」、本社オフィスビル「アントグループ本社」など、合計 5 件を受賞しました。

<2022 年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧 (全 5 件) >

- 【宿泊施設「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」】
- 【集合住宅「ザ・パークハウス 鎌倉」】
- 【集合住宅「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」】
- 【分譲マンション「グランドメゾン新梅田タワーTHE CLUB RESIDENCE」】
- 【本社オフィスビル「アントグループ本社」】

グッドデザイン賞は、三菱地所グループとして、1998 年度に「クイーンズスクエア横浜」で初めて受賞。2003 年度からは 20 年連続の受賞となります。三菱地所グループは、今後も「人を、想う力。街を、想う力。」というブランドスローガンのもと、まちづくりを通じて社会に貢献してまいります。



▲「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」外観
撮影：(株)川澄・小林研二写真事務所



▲「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」外観

■賞プロジェクトの紹介

1. 宿泊施設「ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園」

(三菱地所・ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ・三菱地所設計・乃村工藝社)

さっぽろテレビ塔至近に建設された計 134 室のライフスタイルホテルにおける、外観・客室・ラウンジ・ルーフトップ等を総合的にデザイン。日本初の「高層ハイブリッド木造ホテル」であり、「北海道を体感する」をコンセプトとして、内外装の木質化、家具、レストランやバーの食材等も含め、地元産に拘ってトータルプロデュースを行った。

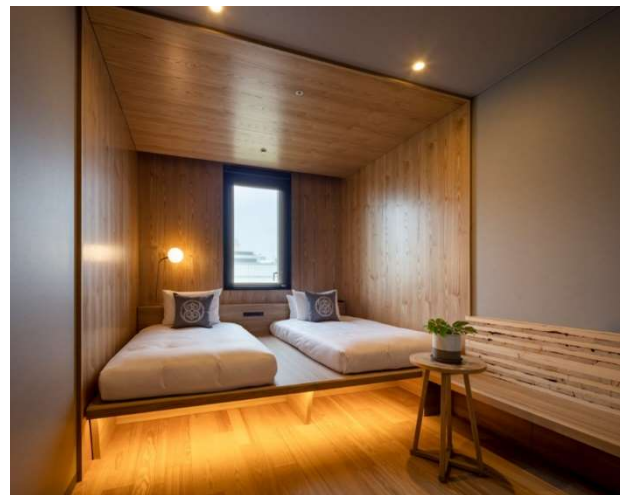
建物上層部の構造を木造化（北海道産トドマツ等）することに加え、内装も北海道産木材で積極的に木質化したデザインとした。RC 造階客室では北海道産トドマツを使用したコンクリート型枠をそのまま天井の仕上げとして現す木質化を施すことで、木のぬくもりも感じつつ開放感のある客室としている。2 階ラウンジは北海道産トドマツの傾斜天井で大通公園の緑へとつながる木の枝を表現、ゲストや地域の人々が木陰に集う風景をデザインした。外装には北海道産カラマツを使用した外装木ルーバーを採用し、都市風景の木質化も行っている。また、木造化による CO₂ 排出量削減だけではなく、エントランス内装や客室内のスピーカー・家具等でも建築廃材を再利用することで、サステナブルな開発を目指した。

(評価コメント)

「北海道」の体験を SDGs を念頭に置いた木造化によって個性としたホテルのプロジェクト。構造としてだけでなく、廃材や端材の再利用や客室内の家具での利用、また北海道産トドマツを使用したコンクリート型枠を使用した木質化を施すなど、多様な表現での木造化を試み、様々なシーンでそれらが感じられる計画として他ホテルとの差別化を図っている。道産材利用だけでなく製作までも徹底して道内で行うという取り組みなども、地域産業の活性化への貢献、地方創生等の観点に根差したものであり、森林の多い北海道におけるホテルの在り方として意義を感じる計画であることを評価した。



撮影：(株) 川澄・小林研二写真事務所



撮影：(株) 川澄・小林研二写真事務所

【概 要】

所 在 地：北海道札幌市中央区大通西1丁目12番地

構 造：RC 造・木造

(壁：枠組壁工法・床：CLT)

規 模：地下 1 階・地上 11 階

延 床 面 積：6,157.06 m²

客 室 数：134 室

建 築 主：三菱地所株式会社

設 計・監 理：株式会社三菱地所設計

施 工：清水建設株式会社

竣 工：2021 年 8 月末



撮影：(株) 川澄・小林研二写真事務所

<住宅事業グループ～19年連続受賞～>

2. 集合住宅「ザ・パークハウス 鎌倉」(三菱地所レジデンス)

本物件は、鎌倉市の歴史的シンボルである八幡宮参道の若宮大路に面する特殊な立地であることから、歴史性や景観を尊重し街の景色に調和するデザインを図った。鎌倉市を通じて、景観まちづくり団体やまちづくりに取組む地元住民の街への強い思いを受け止めながら、建物自身のデザイン性だけでなく、街の賑わい創出や周辺環境の継承といった、鎌倉市や周辺住民、観光客と多種多様な「鎌倉のファン」への配慮が求められた。

西側（若宮大路側）は多くの観光客が行き交い、東側（小道側）は周辺居住者が生活動線として利用していることから、色彩や素材等街並みに調和しながらも水平窓等を活かし、どの方角から見ても建物の“顔”として映るよう象徴的な外観デザインを意識した。また、観光客で賑わう西側には店舗を配置すると共に、建物は東側をセットバックすることで周辺建物との調和を図った。

(評価コメント)

鎌倉は、奥行き深い歴史を背景に、観光と居住が近接して存在する都市構造になっており、都市景観の維持とともに地元住民の生活環境の保全に対する対応が求められている。緑量も多く低層建築が大半を占める鎌倉において、中規模マンションの建設となれば、地域住民に対する丁寧な説明と配慮が必要であろう。ここでは底の設置やセットバックによる周辺環境との馴染みをよくする仕掛けや建物自体の色彩など、随所に思慮深いデザインが実現している。逆梁によって可能となった天井高さ一杯の開口部によって、底の水平性と内外の空間の連続性が強調され、居住空間にも存分に鎌倉の豊かな風景を取り込んだ端正な住宅建築である。



【概 要】

所 在 地：神奈川県鎌倉市小町2丁目351番（地番）

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上5階地下1階建

住戸面積：74.63㎡～199.28㎡

総戸数：23戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社

施工：東急建設株式会社

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2021年12月

3. 集合住宅「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」(三菱地所レジデンス・近鉄不動産)

千葉県浦安市の海岸通り沿い約 47,000 m²の敷地に 4 つの街区で構成される 528 戸の低層共同住宅群。隣接する海や川の自然環境を生活に取り込み、「暮らすリゾート」をコンセプトに“あそび・くつろぎ・出会い”を日々の暮らしの中で享受できる環境を創出。海と川に面し、空の開けた広大な敷地である立地特性を活かし、日々の生活において「新たな刺激」「心の平穏」「人とのつながり」を感じることができ環境づくりを目指した。また、それにより生まれる偶発的な気付きや発見が「創造力」や「共感力」を生み出し、高めることを期待した。

「創造力」や「共感力」を生み出すために、①海や川、公園に隣接した立地条件を活かし、ロードバイク・キャンプ用品・SUP 等の無料レンタルサービスを提供 ②木造独立棟のブックカフェや潮風を感じるデッキテラス、緑に包まれたラウンジをはじめ、平均約 96 m²のゆとりある専有部や自然環境を取り込むバルコニー、リゾートをイメージしたランドスケープなど、居住者が思い思いに選択できる“くつろぎ”の場を創出 ③地域住民に愛されている境川沿いの遊歩道と敷地内の 4 つの街区のエントランス、そして高洲海浜公園を結ぶ「プロムナード」を地域に開放。

(評価コメント)

東京駅まで電車で直通 18 分、東京都心からほど近い立地で、敷地目前に海が広がる立地とはいえ、新浦安を「リゾート」と見立てたコンセプトには少々驚いたが、コロナ禍以降の、自宅もしくは自宅のあるまちでのオンラインを通じたテレワークスタイルの増加を考えると、敷地の立地環境を生かした「リゾート」感を追求し訴求していくことには、一定のニーズがあると思えた。事業性を考えると相応の住戸数が必要で、それを低層のビルディングタイプで対応しようとする、少々窮屈な印象を伴うが、ここでは建物の素材感や色彩、植栽のあり方を工夫することで、上質な環境を獲得しているところが秀逸だ。ハードのデザインに加えて、恵まれた周囲の環境を使いこなすための仕組みやコンテンツが様々な用意されている点でも評価できる。



【概要】

所在地：千葉県浦安市高洲 6 丁目 14 番 1 (地番)

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上 4 階建

住戸面積：86.09 m²～126.67 m²

総戸数：528 戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社

近鉄不動産株式会社

施工：株式会社長谷工コーポレーション

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2022 年 7 月



4. 分譲マンション「グランドメゾン新梅田タワーTHE CLUB RESIDENCE」

(積水ハウス・三菱地所レジデンス・東急不動産・東京建物・NTT 都市開発・アサヒプロパティズ)

大阪の都心において 3,600 m²超の緑豊かな公開空地を設け、871 戸の超高層集合住宅を核に商業・保育所・にぎわい文化・防災機能を複合させ、多世代・地域の人たちが豊かに暮らせる「都市型コンパクトタウン」を創出。

約 1ha もの広さを持つ敷地に大阪の気候風土に根ざした在来種を中心とした“都心の里山”をテーマとした公開空地を創出。生物多様性に配慮し、鳥や蝶等が好む樹種を草地・樹林地、広場、散策路、ビオトープといった多様な環境を整備し、様々な生物との出会い・地域の人たちとのあらたな交流の場を生み出した。敷地中央部に設けたサークル状の芝生広場は普段は地域の憩いの場、災害時には防災広場となる。また足元の豊かな緑を立体的につなげることを考え、35 階にて建物をセットバックさせ、地上 113m の高さに、緑・風・光を感じる住まう人たちの憩いの戸外空間“スカイテラス”を設けた。

(評価コメント)

発展が期待される、大阪「大淀南地区」エリアの大規模開発の計画である。敷地内には 3,600 m²超という広大な公開空地を設け、地域住民に開かれた緑豊かな公園を創出。この公開空地は、地域の憩いの場であるだけでなく、防災広場としての役割も持つ。周囲のコンテクストを丁寧に読み込んだ配棟計画は、商業だけでなく保育所や文化施設など、様々な機能がコンパクトに凝縮されていて、それ自体が街のようである。大規模開発においては、地域との関係をどう創るかが大きな課題であるが、在来種を中心とした公開空地の緑が大きく育ったとき、この住宅はより地域に溶け込んだ「ひとつの場所」になっていくであろう。



【概要】

所 在 地：大阪府大阪市北区大淀南 2 丁目 2 番 1 (地番)

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上 51 階地下 1 階建

住 戸 面 積：62.53 m²～128.75 m²

総 戸 数：871 戸

事 業 主：積水ハウス株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、東急不動産株式会社、
東京建物株式会社、NTT 都市開発株式会社、株式会社アサヒプロパティズ

施 工：株式会社竹中工務店大阪本店

管 理 会 社：積水ハウス GM パートナーズ株式会社

竣 工：2021 年 6 月

<設計監理事業グループ>

5. 本社オフィスビル「アントグループ本社」(三菱地所設計)

中国有数の金融関連会社で、世界最大のオンライン決済サービスを展開するアントグループの拠点計画。中国では企業イメージを体現したシンボリックな本社ビルが多い中、自然を愛でる杭州の文化的コンテキストと敷地を取り囲む豊かな緑および地形を生かし、自然と建築、建物内部と外部、執務室と交流空間が融合した、省エネルギーで快適なオフィスキャンパスを実現した。

山裾の地形と周囲を取り囲む茶畑の自然環境を生かすため、幅約 19m のオフィス棟を高低差に沿って並行に配置した。オフィスは、両面採光と自然通風に加えてテラスの庇効果で直射日光を抑え、照明や空調負荷を抑制した開放的で快適な執務空間としている。各建物は中間階がブリッジ等で結ばれ、環状の回廊を形成し、各部吹抜け、食堂、多目的ホール、スポーツ・ハブ等の公共施設がひと続きのネットワーク化されたコモンスペースとなり、社員間の偶発的な交流の発生を図っている。

(評価コメント)

広大で緑豊かな斜面地の中に中層のオフィスが分散配置されたデザインは、「キャンパス型」のオフィス計画の典型的なパターンの一つとしてこれまで数多くの計画案が描かれてきているが、日本では実現をする機会がほとんどなかった。この計画は、そういったキャンパス型オフィスを中国の広大な敷地と経済力を背景に実現したものである。各棟は、完全な分棟型ではなく、中層の短冊状のボリュームが格子状に組み合わせられていて、外観上の特徴ともなっている。日本の都市近郊などにも応用できそうな「プロトタイプ」としての可能性が評価された。



【概要】

所在地：中国浙江省杭州市

敷地面積：88,566m²

構造・規模：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上10階地下3階建

延床面積：301,167m²

設計：株式会社三菱地所設計

施工：中建三局第一建設工程有限責任公司

竣工：2021 年 7 月

<参考>

●三菱地所グループ グッドデザイン賞受賞実績

1998 年度	「クイーンズスクエア横浜」
2000 年度	「丸の内仲通り」
2001 年度	「国立室戸少年自然の家海望台」
2003 年度	「丸の内ビルディング」
2004 年度	「M.M.TOWERS」「日本テレビタワー」「品川セントラルガーデン」
2005 年度	「ザ・フィネスト上野毛パークハウス」「洗足池スタイルハウス」「フォレスト南平台」 「ザ・ハウス南麻布」
2006 年度	「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」「追手門学院大学守衛所」 「明治安田生命ビル街区再開発」
2007 年度	「セントラルガーデン・レジデンス」「ザ・スタジオ（共同事業）」 「読売北海道ビル」「オンワード仙台支店」「国際文化会館」 「横浜ベイクォーター」「新丸ビル」
2008 年度	「M.M.TOWERS FORESIS」「CAPITAL MARK TOWER（共同事業）」 「成蹊大学情報図書館」
2009 年度	「本郷パークハウス ザ・プレミアムフォート」「The Kitahama」
2010 年度	「パークハウス フォレストリエ」「パークハウス 木々 津田沼前原」 「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」 「ミッドオアシスタワーズ」「パークハビオ駒沢大学」「soleco（ソレッコ）」
2011 年度	「パークハウス吉祥寺 OIKOS」「パークハウス江ノ島」「豊洲フロント」 「大鉄工業本社ビル」「成蹊学園キャンパス」
2012 年度	「ザ・パークハウス 茅ヶ崎東海岸南」「ザ・パークハウス 六番町」 「5つのアイズ」「スマイラボ」「八事山興正寺 境内整備計画Ⅰ」
2013 年度	「ザ・パークハウス 池田山」「東洋文庫」「熊谷商工信用組合本店」
2014 年度	「丸の内仲通り」「MARK IS みなとみらい」「『はらくつつい東北』シリーズ」 「ザ・パークハウス 代官山レジデンス」「ザ・パークハウス 渋谷美竹」 「ザ・パークハウス 戸塚」「ドレッセ世田谷桜レジデンス（共同事業）」 「スーパータックフィット MNT（共同事業）」 「全館空調エアロテックのダクトレイアウトシステム」「制震賃貸住宅エムアセット」
2015 年度	「ザ・パークハウス グラン 千鳥ヶ淵」ベスト 100 受賞 「マンションのランニングコストの見える化『マンション家計簿』」ベスト 100 受賞 （グッドデザイン・未来づくりデザイン賞受賞） 「築古ビルのバリューアップ転貸事業『Re ビル』」ベスト 100 受賞 「ザ・パークハウス グラン 三番町」「ザ・パークハウス 上鷺宮」 「ザ・パークハウス 追浜」「SKYZ TOWER&GARDEN（共同事業）」 「パークハビオ赤坂タワー」「西新宿 CLASS in the forest」「プレーン・ルームズ」 「そなえるカルタ」「BIO NET INITIATIVE」「脇浜寮」
2016 年度	「ザ・パークハウス 晴海タワーズ」「賃貸物件の無人内覧サービス」 「遊休資産となった社宅再生転貸事業」「新築分譲マンションのための研究開発手法」 「渋谷董友ビル」「本社ビル+企業ミュージアム『安川電機みらい館』」 「『オーダーグラン』駒沢ステージ2 ホームギャラリー」
2017 年度	「ザ・パークハウス グラン 南青山」「ザ・パークハウス 市谷甲良町」 「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」「プレイスヴィラ喜多見」 「BAYZ TOWER&GARDEN」「集合住宅向け PC 工法のシリーズ化」 「空気の価値化『新マンションエアロテック』」「住まいの中に、木の小部屋『箱の間』」 「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」「星のや東京」

2018 年度	「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」「蘆花公園 ザ・レジデンス」 「ザ・パークハウス 中之島タワー」「ザ・パークハウス 新宿御苑」 『『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト』 『『各住戸玄関前宅配ボックス』を利用した集合住宅における新しい宅配システム』 「グリーン付家具『ボタニカルファニチャー』」「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」 「木造住宅最高レベルの高遮音床」「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」 「グランモール公園再整備」「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」 「X-PRESS 有楽町」
2019 年度	「ザ・パークハウス 五番町」「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」 「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」 「Under construction (Un.C./アंक)」 「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」 「連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス」 「KOJIMACHI TERRACE」 「ヒューリックスクエア東京」
2020 年度	「ザ・パークハウス 神戸タワー」「hitoto 広島 The Tower」 「グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート」 「太陽光でお湯を沸かす ZEH-M スキーム『ソレイユ』」 「一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント (B・Pam)」 「丸の内 15 丁目プロジェクト」 「CIRCLES ～人の輪ができる、まちと繋がるオフィス～」 「CLT PARK HARUMI」「福島テレビ株式会社本社」「Medicha (メディーチャ)」
2021 年度	「WORK×ation Site 軽井沢」 「型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム」「ザ・パークレックス 大濠公園」 「瀬田の杜 Garden & Terrace」 「天然木ノンビス工法外装材」「大手町ビル・リノベーション」 「LIXIL WING ビル HOSHI」 「明産霞が関ビル」
2022 年度	「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」 「ザ・パークハウス 鎌倉」 「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」 「グランドメゾン新梅田タワーTHE CUBE RESIDENCE」 「アントグループ本社」

以 上